

今冬は全国的に厳しいものでした。日本海側の大雪は同じ雪国に住む私たちでも驚くような量です。私の元上司も東京から故郷の新潟に戻り、連日の大雪だったため老体に鞭打って雪はねをしていると先日便りが届きました。気候の変動が際立ってきていますがそれが人の営みにマイナスに動いているような気がします。さて、2月に開催されたさっぽろ雪まつりは来場者数前年比10万人減でした。前述した厳しい冬だったことや平昌オリンピックの影響もあったのでしょうか。同時期私は家族と旭川に行きました。旭川でも冬まつりが行われており、ホテルや飲食店はどこも満杯でした。最近インバウンドが観光のキーワードになっていますが、旭川にも多くの外国人観光客がいました。聞こえてくるのは中国語、韓国語、タイ語、ドイツ語、英語など様々な国の人たちが旭川にきているということがわかりました。さっぽろ雪まつりの来場者数減少の要因はここにもあるような気がします。現在の旅行のスタイルは団体旅行から個人旅行へとシフトしつつあります。そしてその多くが日本へのリピーターで大都市（東京、大阪、札幌など）を体験した彼らはさらにニッチ（隙間）なところへ旅行する傾向があります。例えば、旭岳でのスキーやスノーボードは上質なパウダースノーを求める白人スキーヤーの間ではかなり有名です。

地域おこし協力隊が行く！

村上春樹はHaruki Murakamiとして世界中に読者がいますが、代表作「羊をめぐる冒険」の舞台は隣町美深町仁宇布（雄武・美深線で雄武町民には馴染みのある場所です）であるということと世界中のハルキストが聖地巡礼として訪れています。先日興部で行われた「おもてなし・ホスピタリティ」とは何かというセミナーに参加しましたが、講師の方が今後外国人観光客は飛躍的に増加するだろうとおっしゃっていました。そしてその多くが大都市圏ではなく私たちの町のようなニッチなところへやってくると思われま

す。その時になって慌てるのではなく物理的にも心理的にも準備をしておく時期が来ています。インターネットの発達した現在旅行客が最も頼りにするのは「口コミ」です。何かのきっかけで「その時」がやってくることは十分にあり得ることなのです。



地域おこし協力隊 観光推進支援員 佐藤 寧

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～



「くもたちの生活」



池田 藍瑠さん



「うちゅう」



山田 美志さん



「きょうりゅうの世界」



工藤 大志くん

Art Museum

小さな美術館 ～豊丘小学校～

※学年はすべて3年生



豊栄削蹄勤務

長内 祐明さん

(新町)

Fresh Talk

フレッシュトーク

「牛の爪を切る仕事に興味を持ち入社しました」
枝幸町の出身で、去年の3月から勤務しています。「仕事を知ったきっかけは、親の知り合いから牛の削蹄（牛の爪切り）の仕事があると聞いたことでした。初めは、牛と言えは搾乳しか思い浮かばず削蹄ってなんだろう」と思いましたと笑います。「でも、仕事内容を聞いていくうちに、すごく興味がでてきて、僕もやってみたいと思い、応募しました」と話します。

現在は、上司や先輩の仕事道具を準備したり、牛をけん引するなど削蹄をするための準備が主な仕事だとい、「初めは、牛が上手くけん引で来ませんでしたが、牛にも一頭一頭性格があってそれに合わせた方法が必

要だと、上司や先輩の指導で分かるようになりました。」「すごく人懐っこい子や、すごくおびえてしまったり上手く誘導できない子など様々で、それを理解してけん引が上手いといくと楽しいです」とコツをつかんできた様子。

今後の目標について尋ねると「ミスが減らして、早く上司や先輩に追いつけるようになりたい。そして、削蹄ができるようになりたい」と力強く話してくれました。

そんな長内さんの息抜き方法は、漫画を集めることだとい「高校生の頃から集めて、数百冊は超えました。将来は千冊は超えたいですね」と笑顔で答えられました。

Kids

わんぱくキッズ（若草保育所）～大きくなったら～



はしだ あのん ちゃん



ながた ゆうとくん



ふくだ ゆづき ちゃん